

2024年8月30日、31日開催

なにわ筋線

福島区関連工事説明会

(トンネル発進・到達立坑構築工事等)

事業主体：関西高速鉄道株式会社

施工者：西松・鉄建・大本 特定建設工事共同企業体

次 第

1. 事業概要
2. 福島区関連工事予定
3. 工事概要
4. 工事工程
5. 施工手順
6. 工事の実施
7. 道路規制計画
8. 家屋調査

都市高速鉄道 なにわ筋線

1. 事業概要

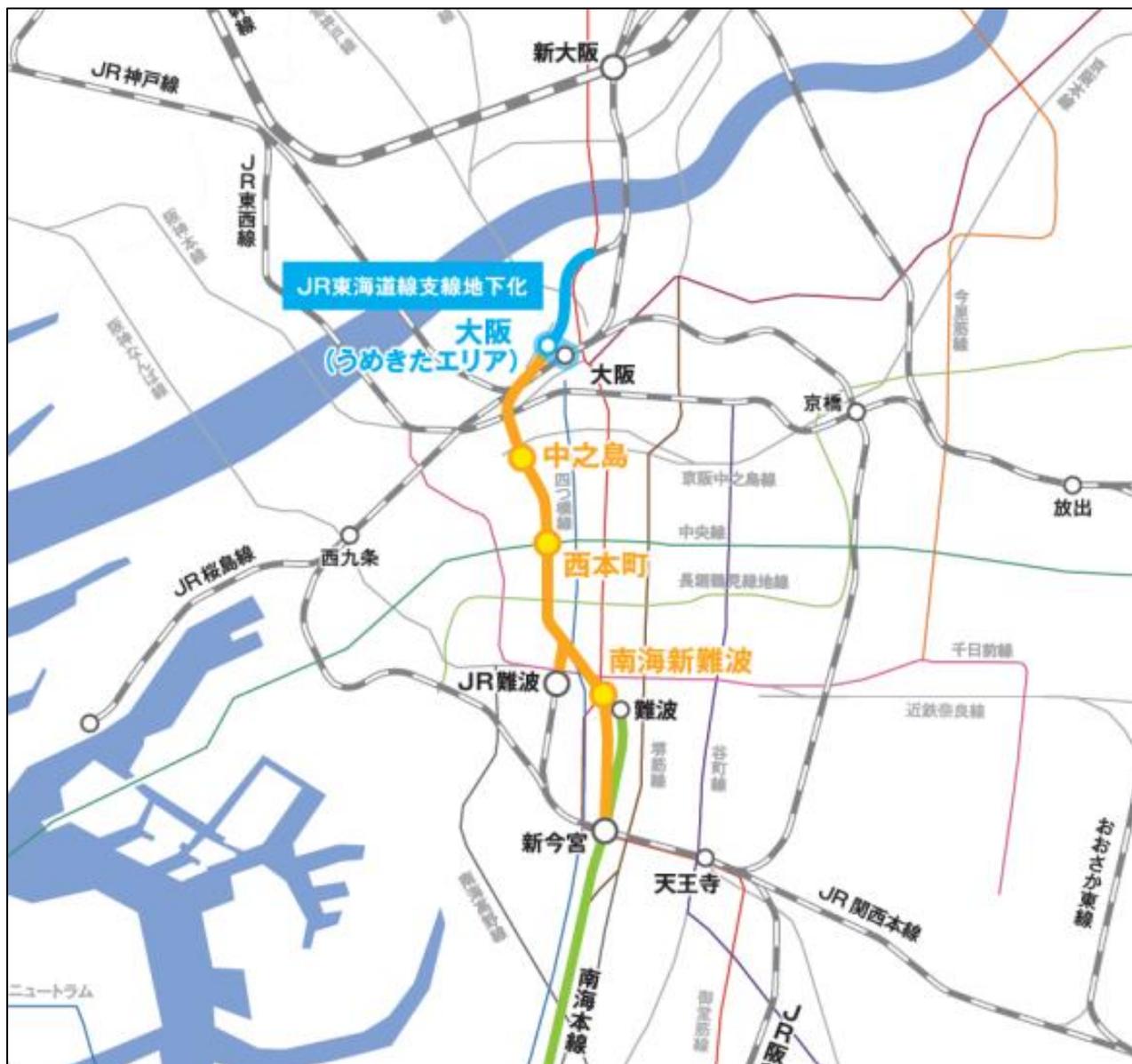
1. 事業概要

都市高速鉄道
なにわ筋線は、

大阪駅
(うめきたエリア) と
JR難波駅及び
南海本線新今宮駅

をつなぐ
新たな鉄道路線です。

※中之島、西本町、
南海新難波の駅名は仮称



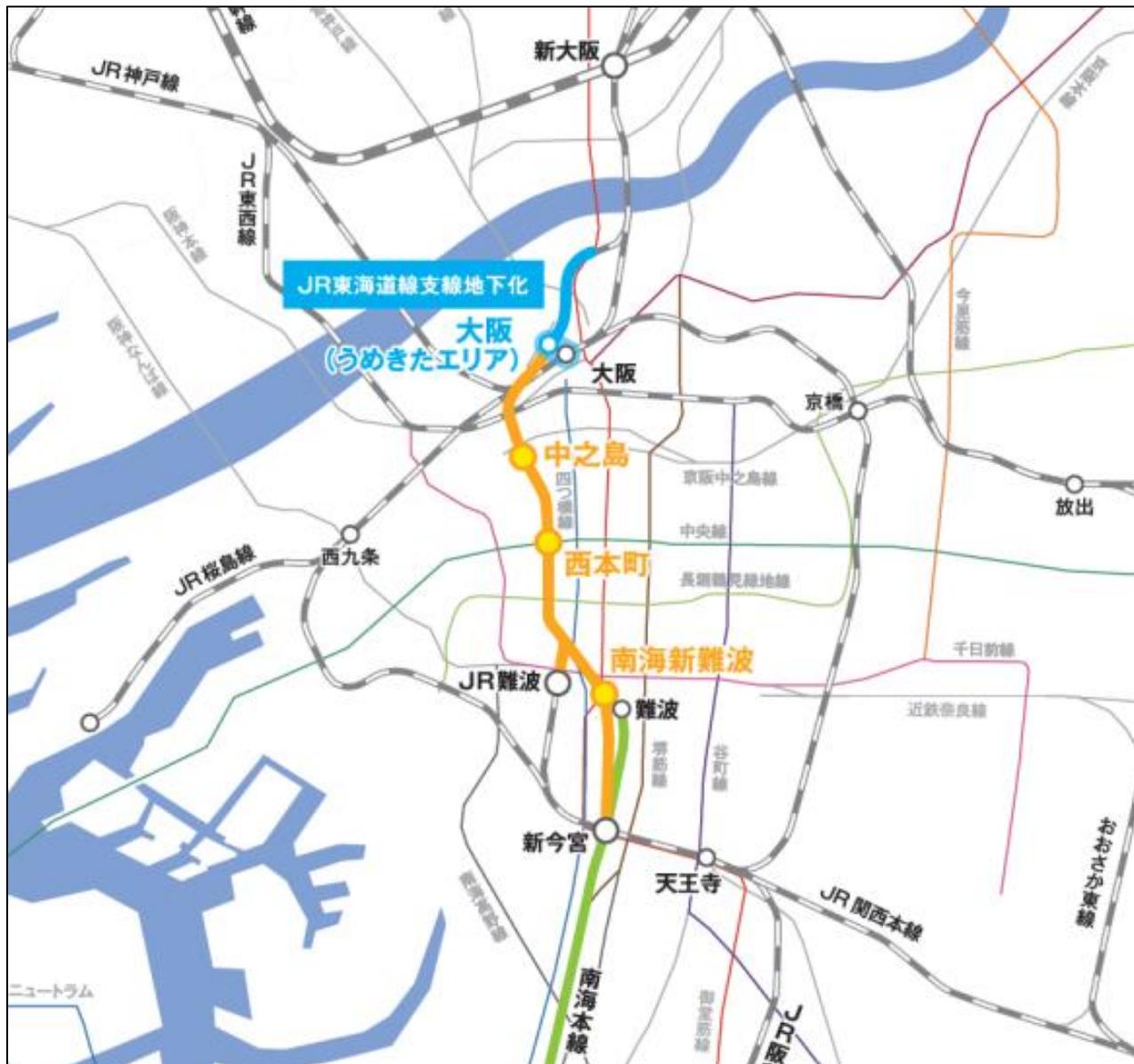
1. 事業概要

《主な整備効果》

- ① 関西国際空港へのアクセス改善
- ② 沿線拠点開発の促進
- ③ 鉄道ネットワークの強化

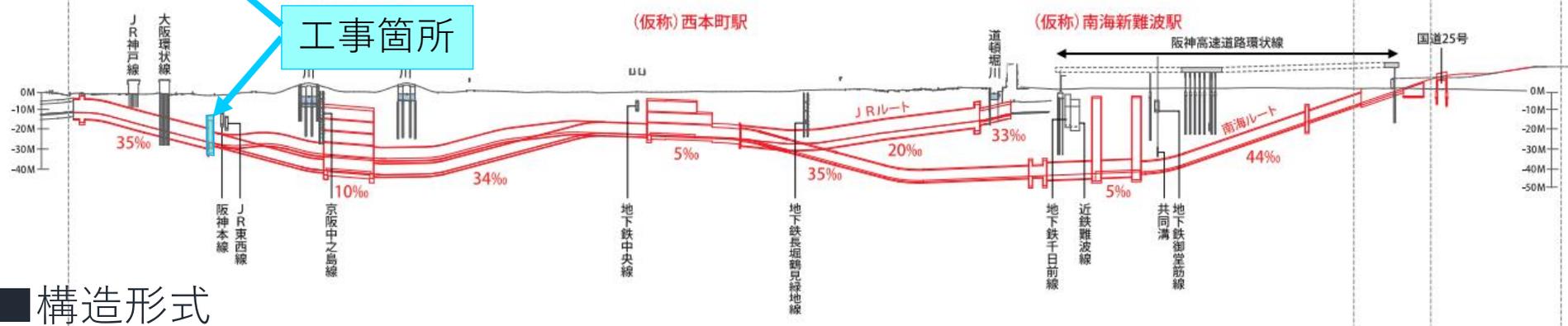


鉄道の利便性向上
大阪・関西の活性化
に資する新線建設事業



1. 事業全体図

平面図
縦断面図



構造形式



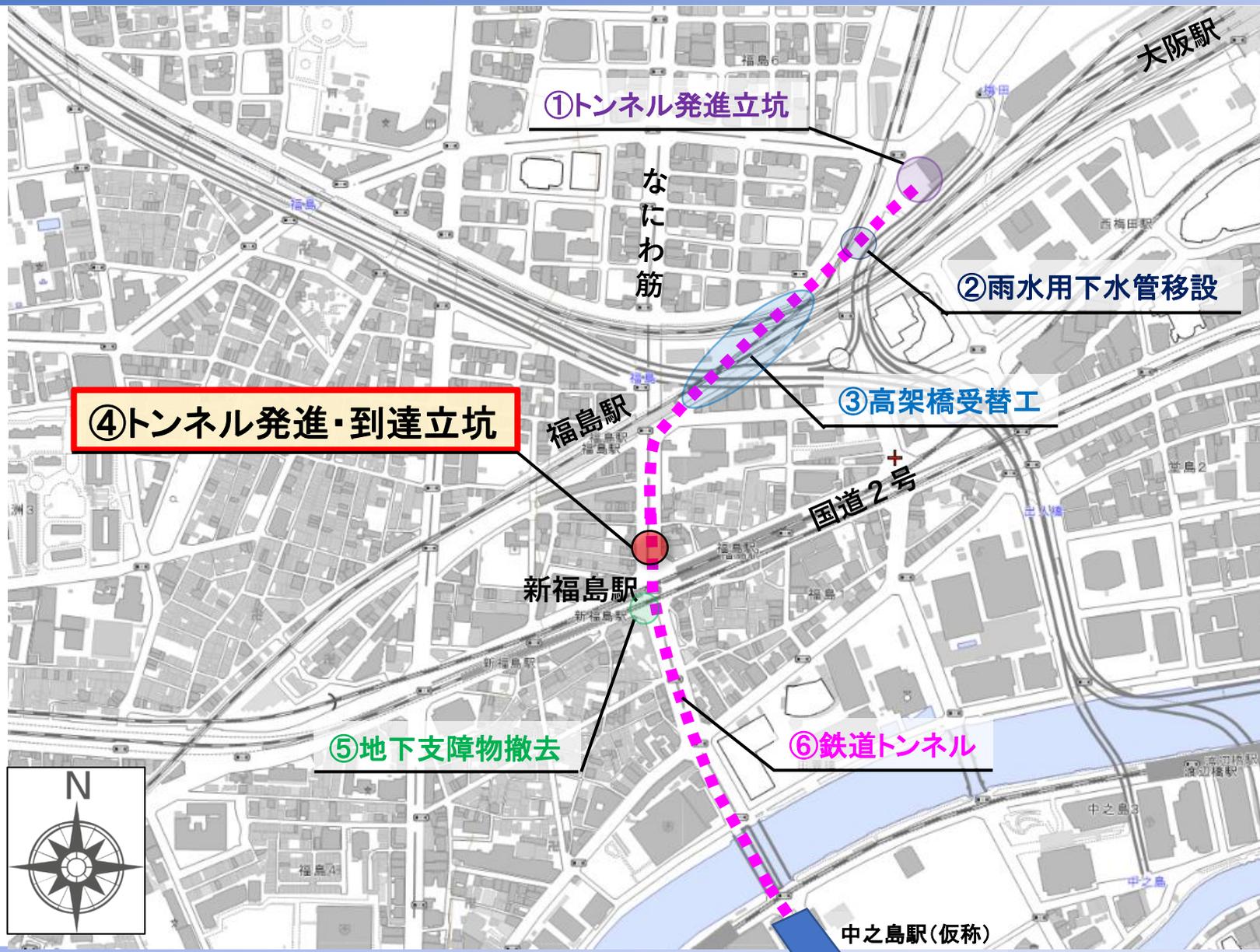
建設延長

約7.2km (地下6.4km、掘割0.3km、高上0.5km)

なにわ筋線 福島区関連工事

2. 福島区関連工事予定

2. 福島区関連工事予定



2. 福島区関連工事予定



工事説明会開催予定

今回対象：④

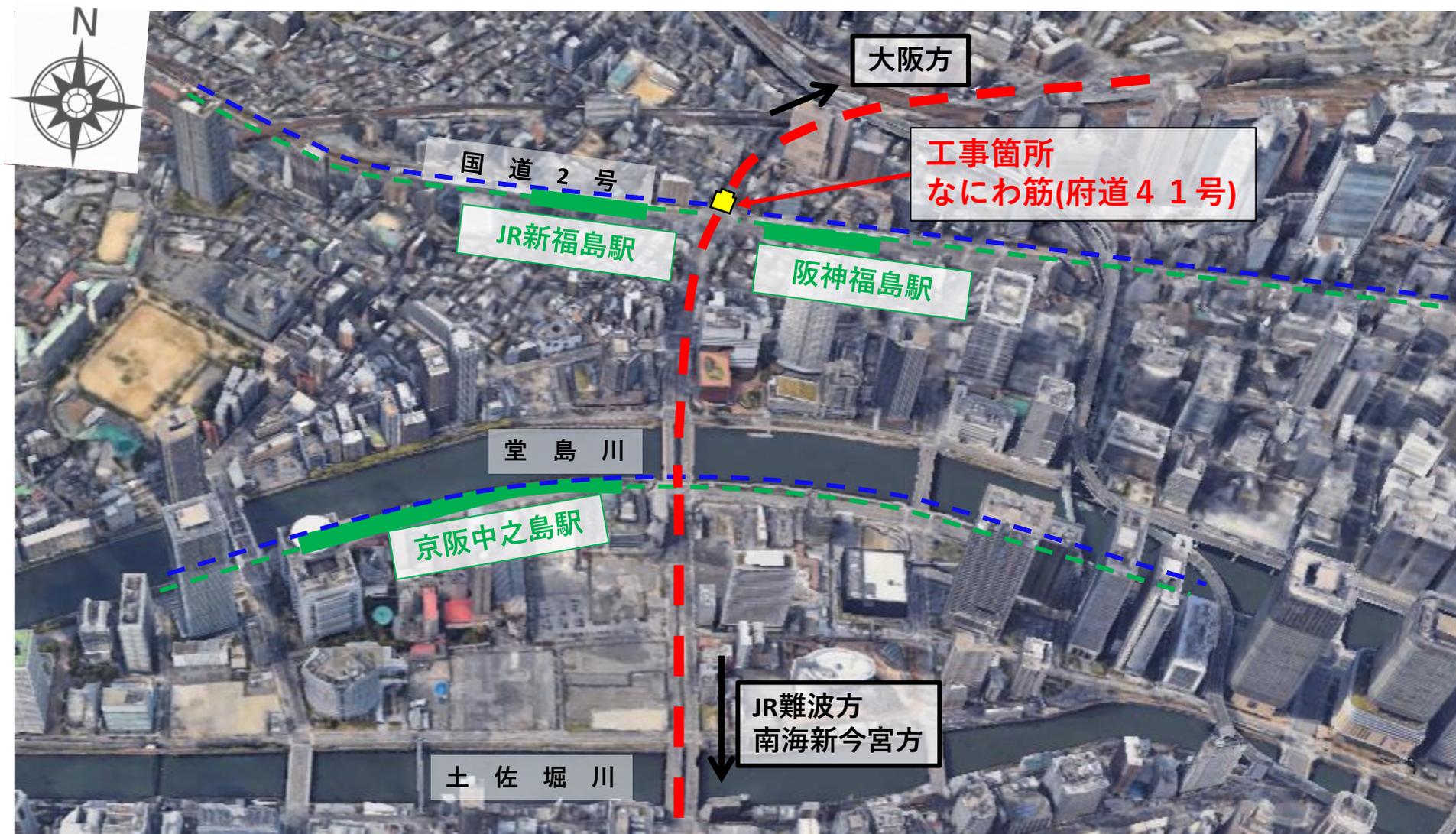
⑥は今後、関係者協議および施工計画が決定し次第実施します。

トンネル発進・到達立坑構築工事

3. 工事概要

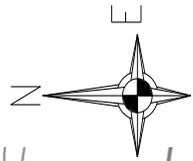
3. 工事概要

位置図



3. 工事概要

平面図



複線シールド区間

単線シールド区間

な に わ 筋
浄正橋

トンネル
発進・到達立坑

大阪方

JR難波方
南海新今宮方

3. 工事概要

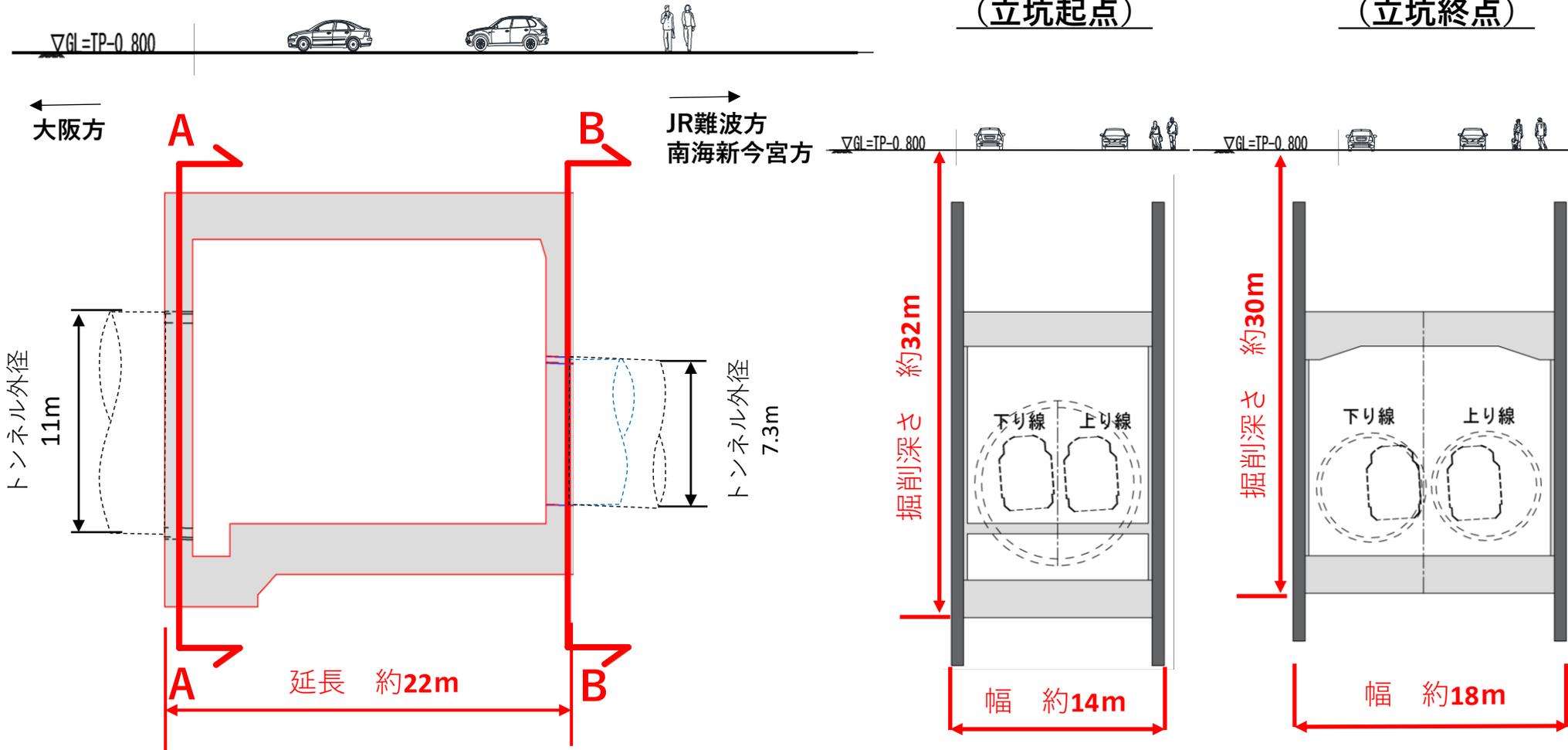
立坑延長：22m
掘削深さ：32m

縦断面図

断面図

A—A
(立坑起点)

B—B
(立坑終点)



なにわ筋線 福島区関連工事
トンネル発進・到達立坑構築工事等

4. 工事工程

4. 工事工程

工事工程表

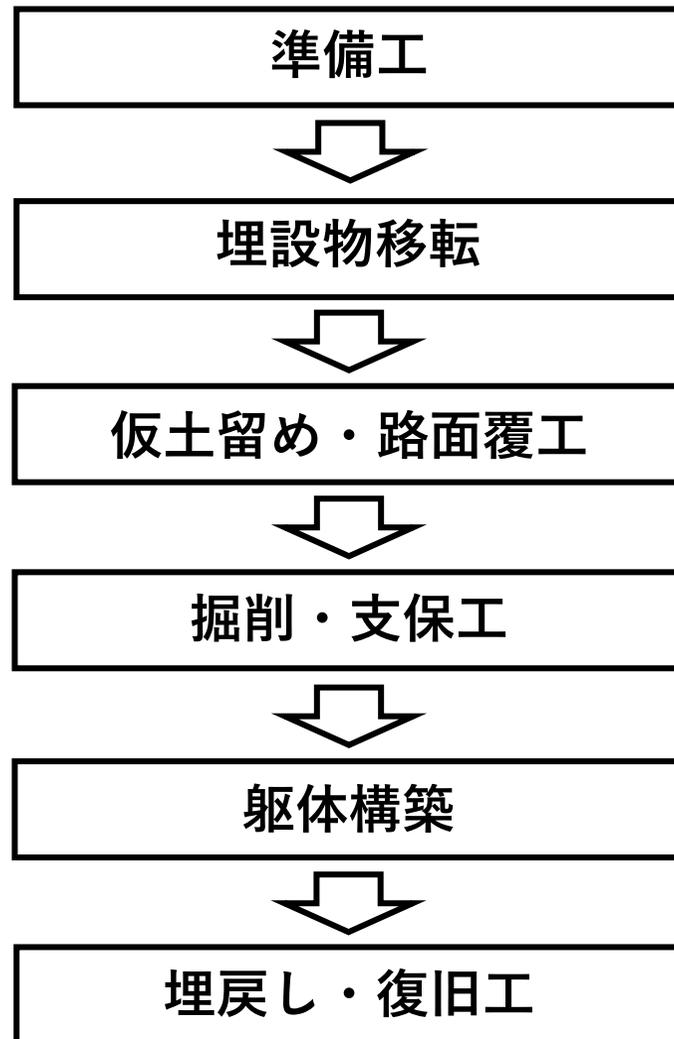
工事工程	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
準備工 家屋調査 ヤード整備等	▽工事説明会 			
埋設物移設				
仮土留め 路面覆工				
掘削 支保工				
躯体構築				
埋戻し 復旧工			<div data-bbox="1425 1173 1798 1288" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 資機材搬入出のため 発進・到達立坑を使用する 可能性があります </div> 	

なにわ筋線 福島区関連工事
—トンネル発進・到達立坑構築工事等—

5. 施工手順

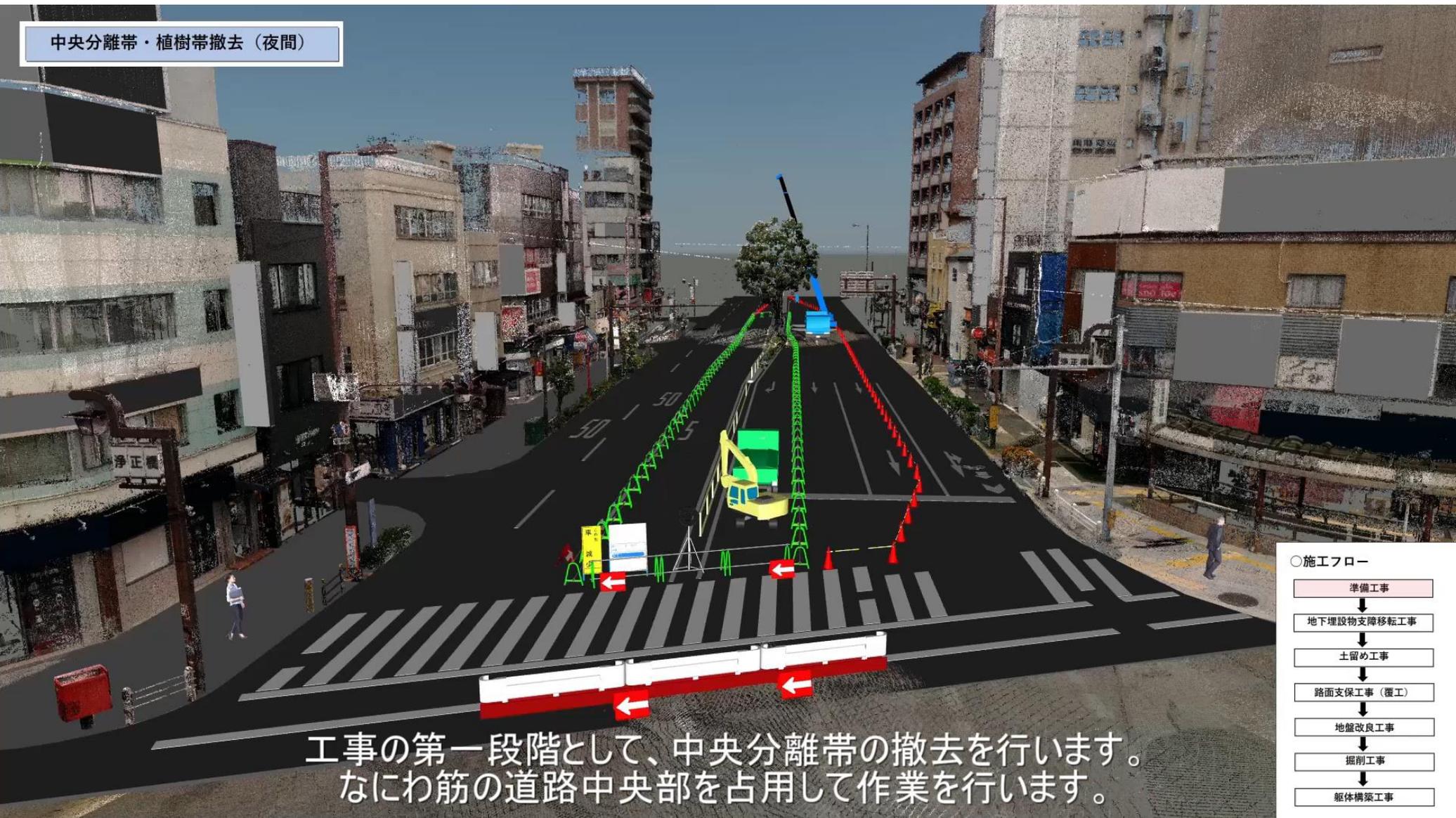
5. 施工手順

○施工フロー



5. 施工手順

中央分離帯・植樹帯撤去（夜間）



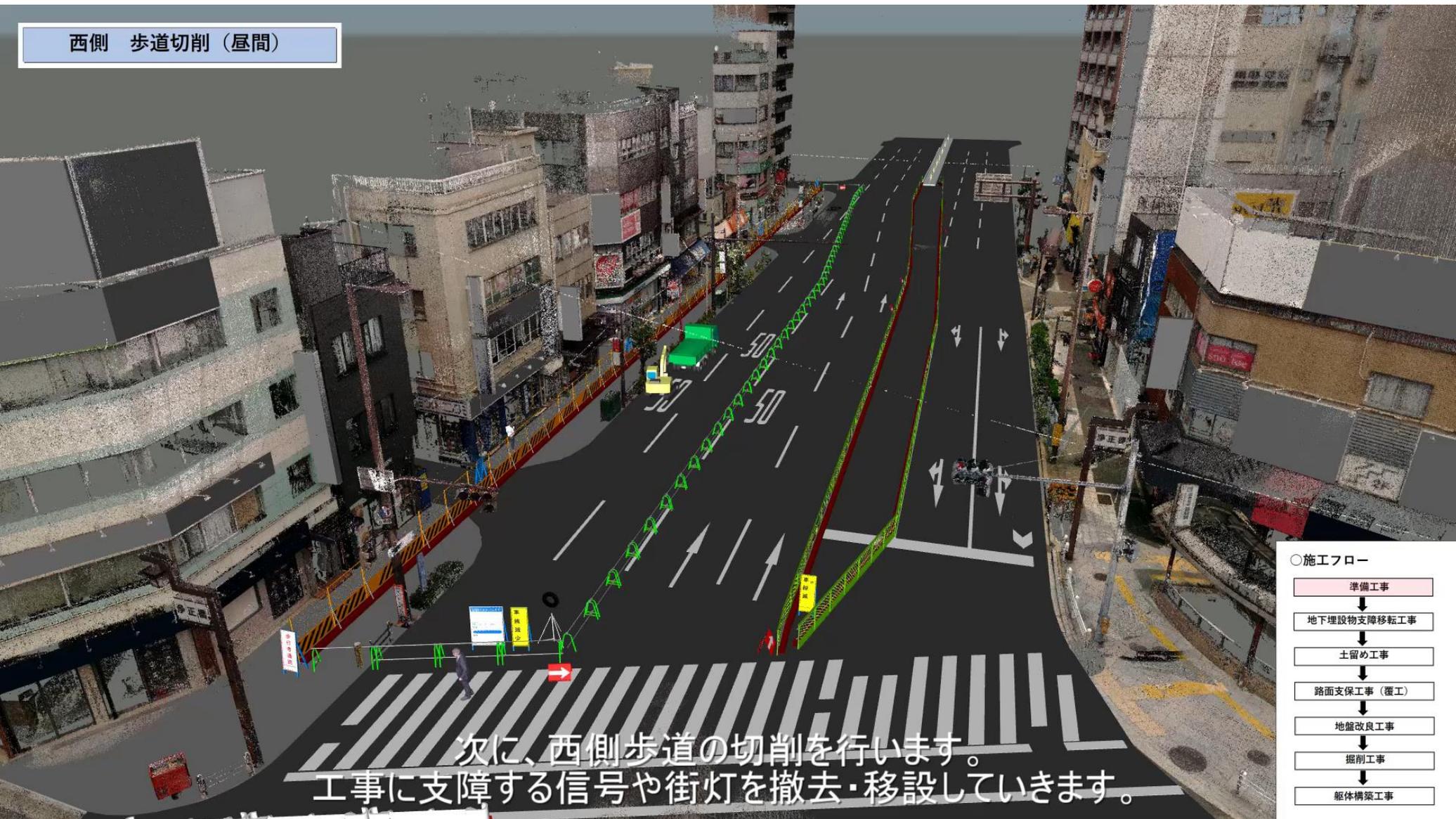
工事の第一段階として、中央分離帯の撤去を行います。
なにわ筋の道路中央部を占有して作業を行います。

○施工フロー



5. 施工手順

西側 歩道切削（昼間）

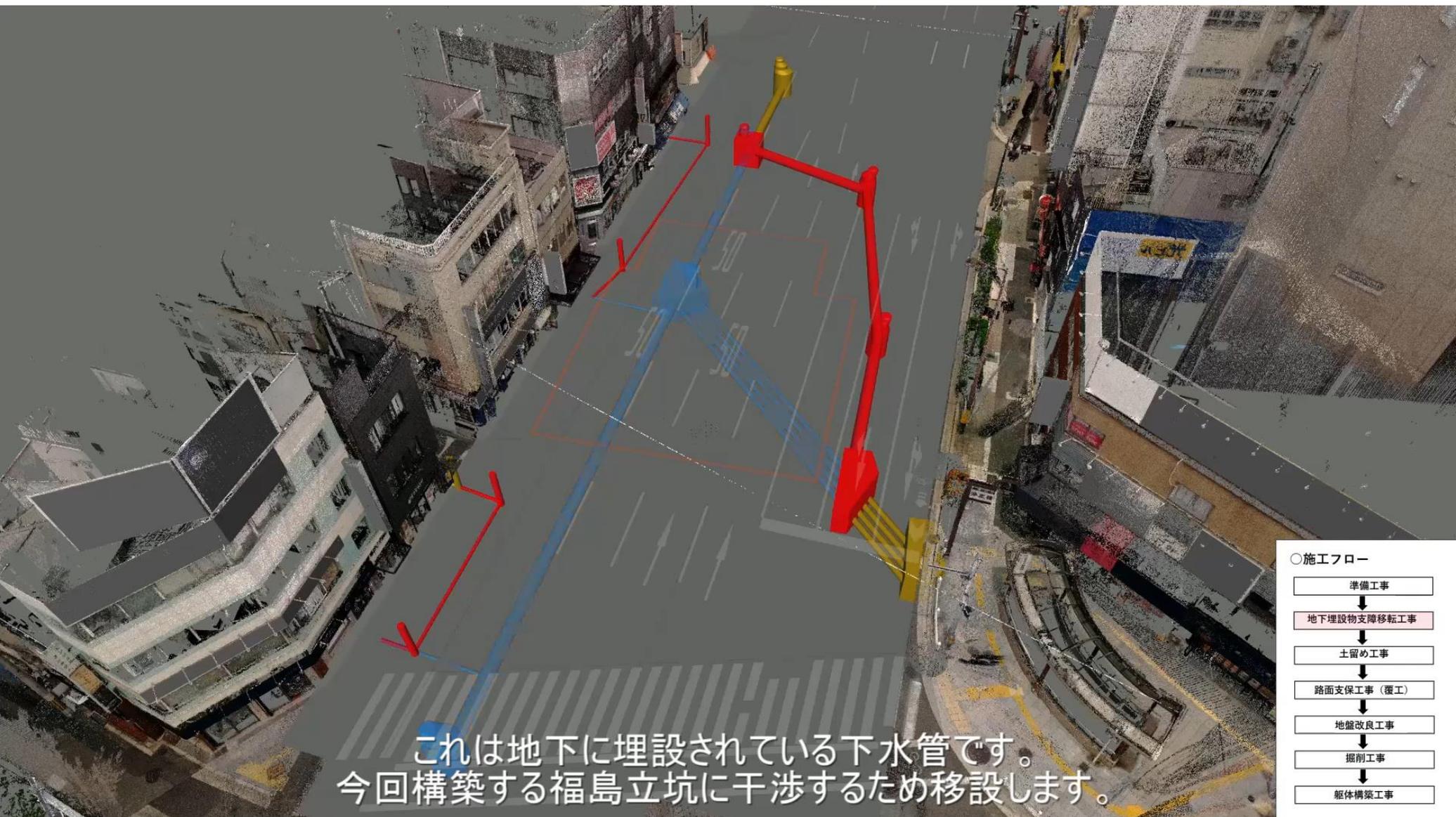


次に、西側歩道の切削を行います。
工事に支障する信号や街灯を撤去・移設していきます。

○施工フロー

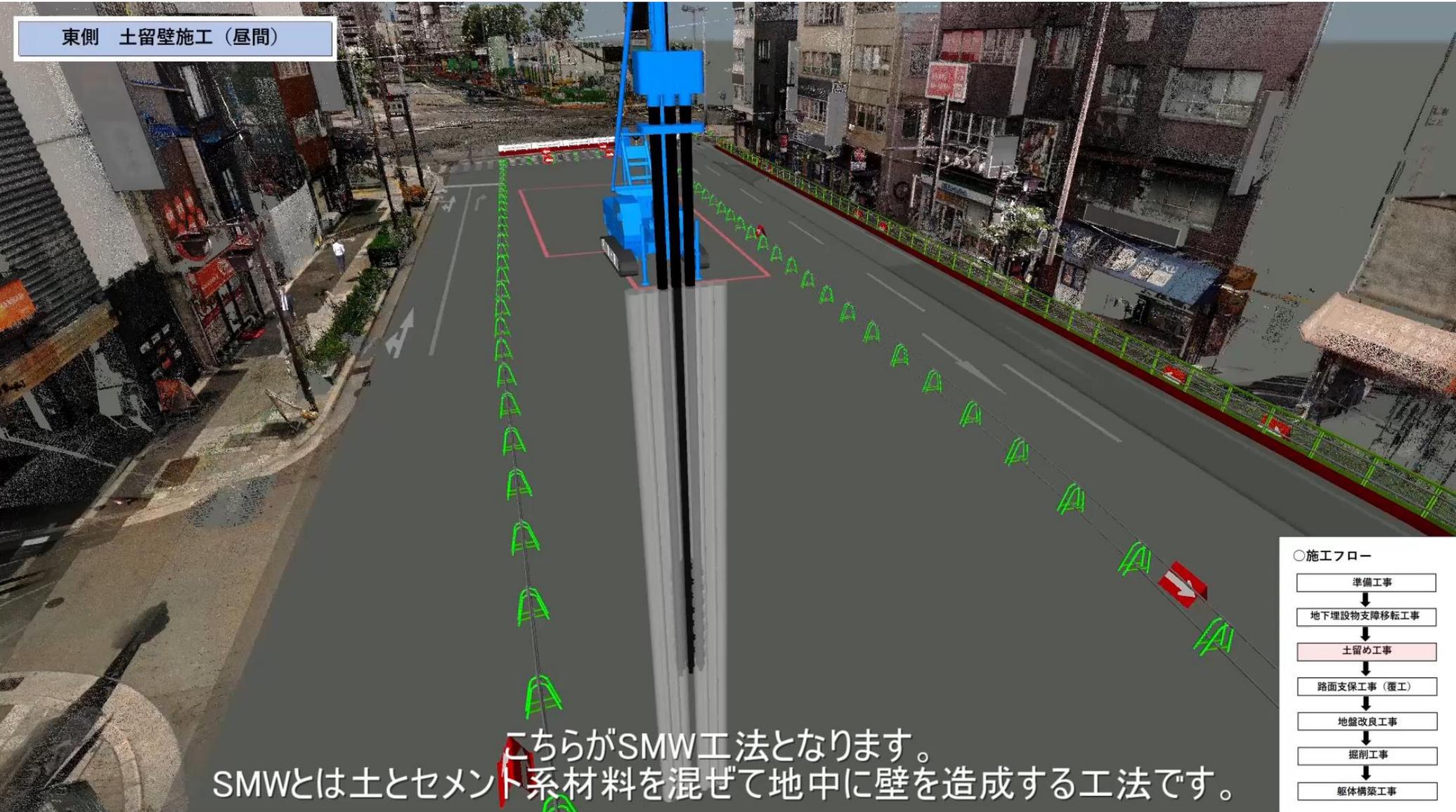


5. 施工手順



5. 施工手順

東側 土留壁施工（昼間）

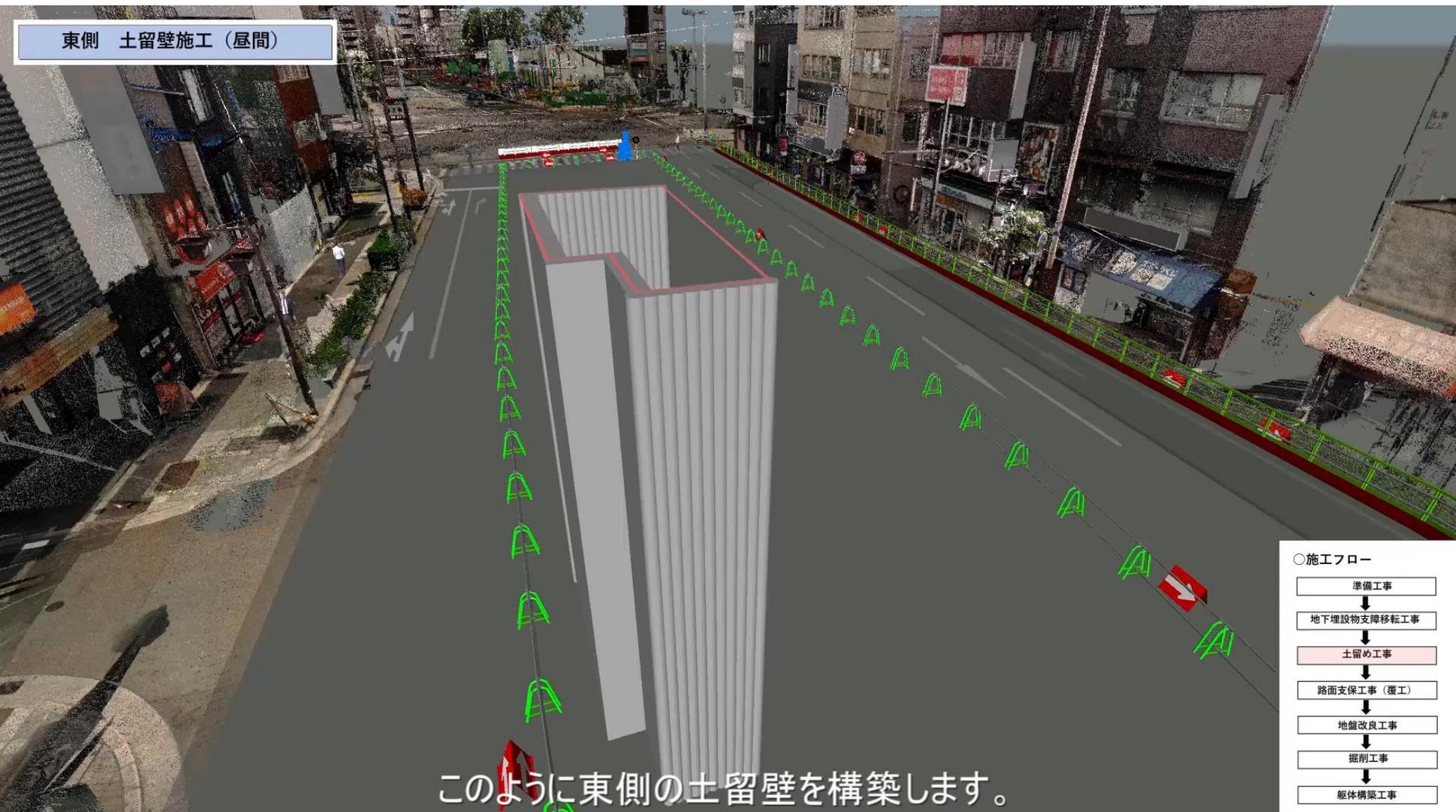


○施工フロー



5. 施工手順

東側 土留壁施工（屋間）

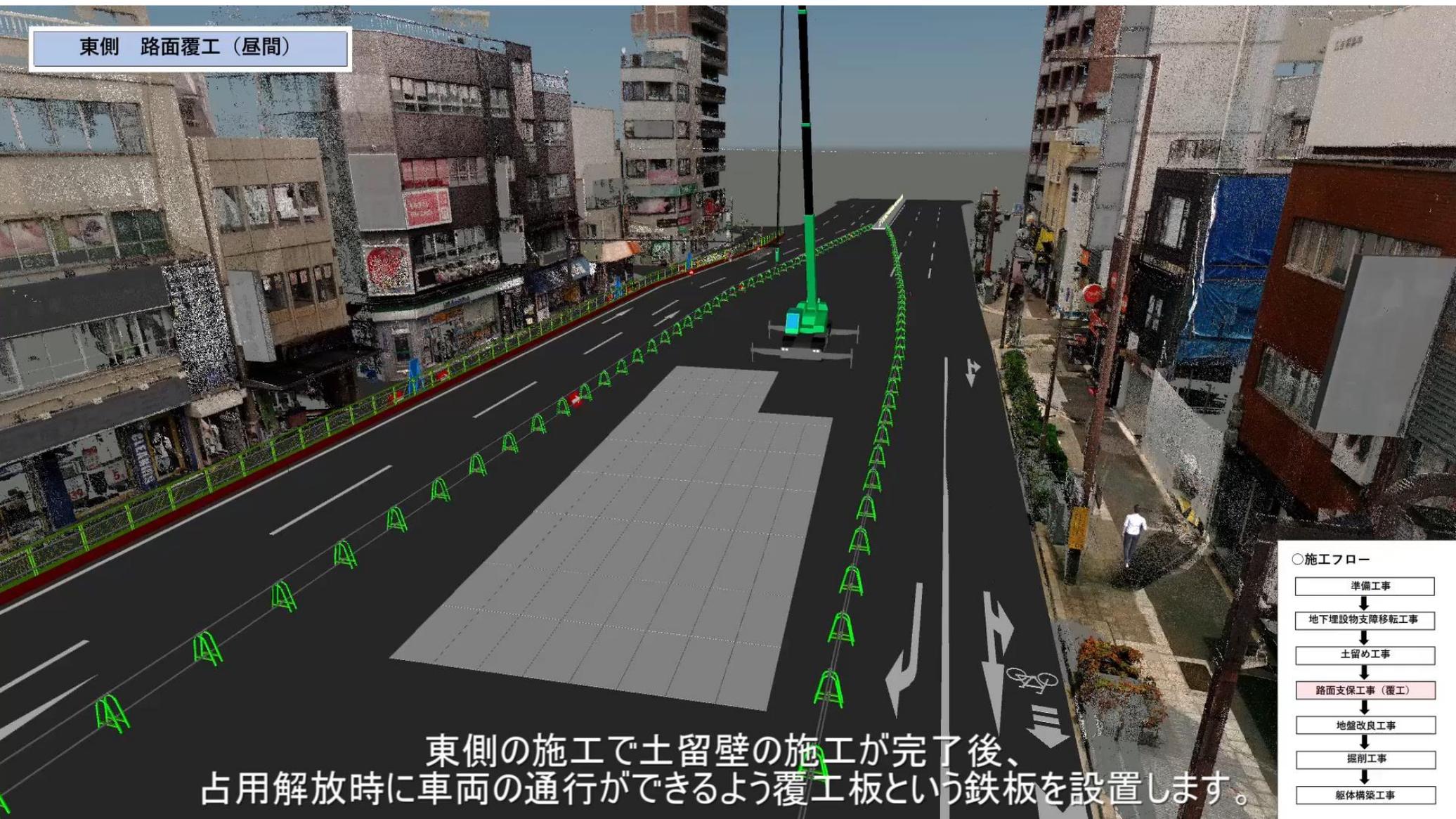


○施工フロー



5. 施工手順

東側 路面覆工（昼間）

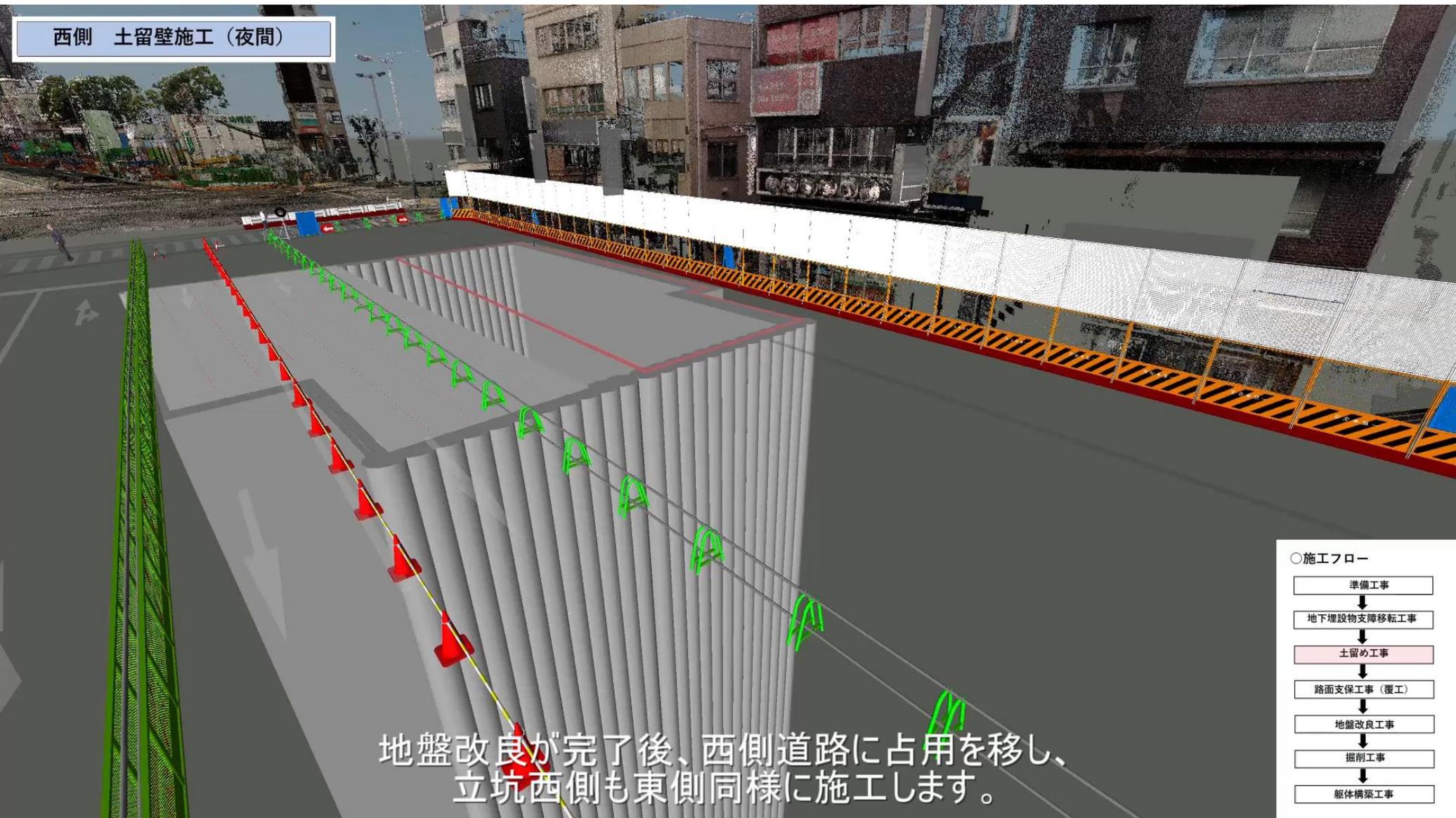


○施工フロー



5. 施工手順

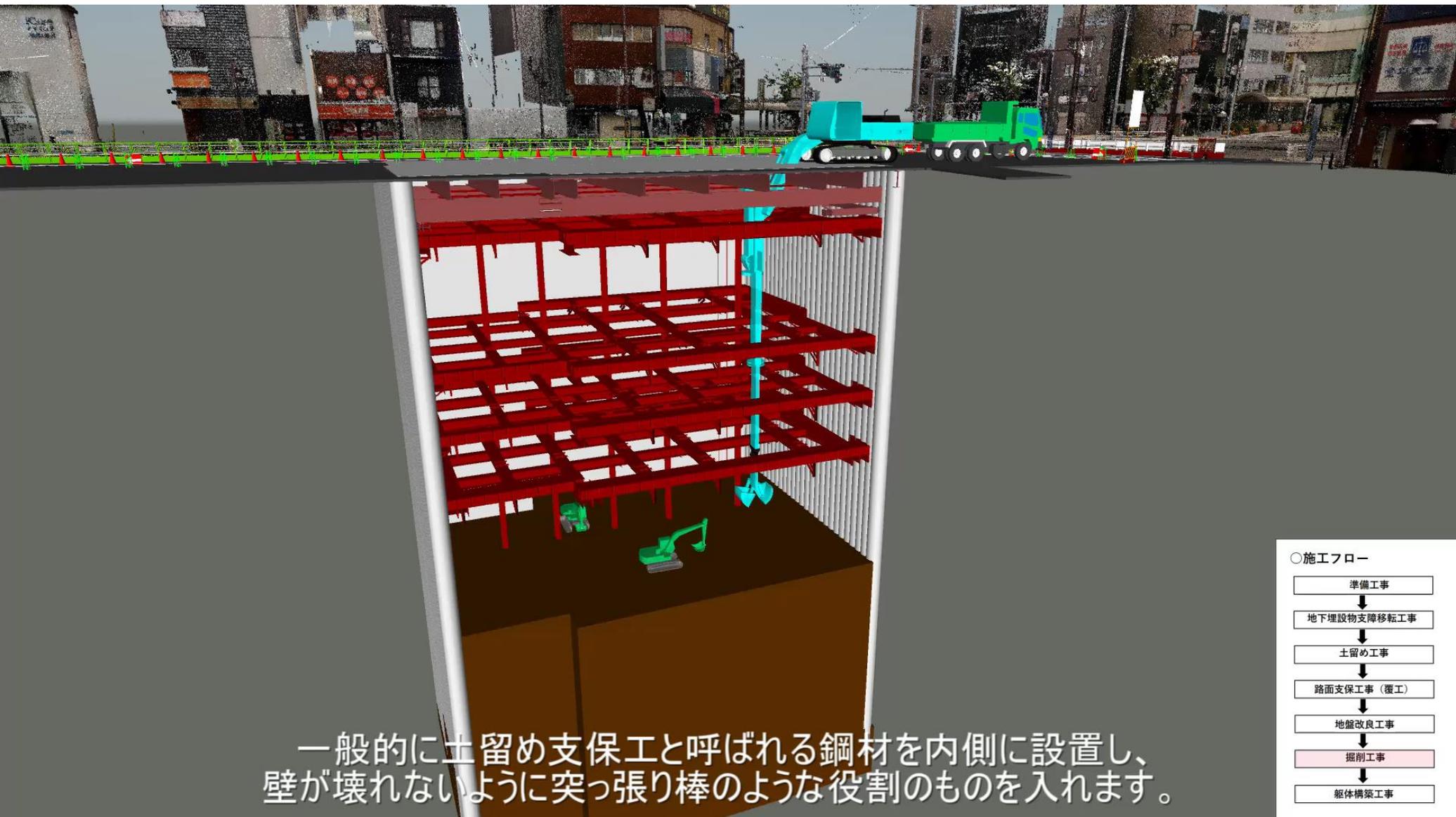
西側 土留壁施工（夜間）



○施工フロー



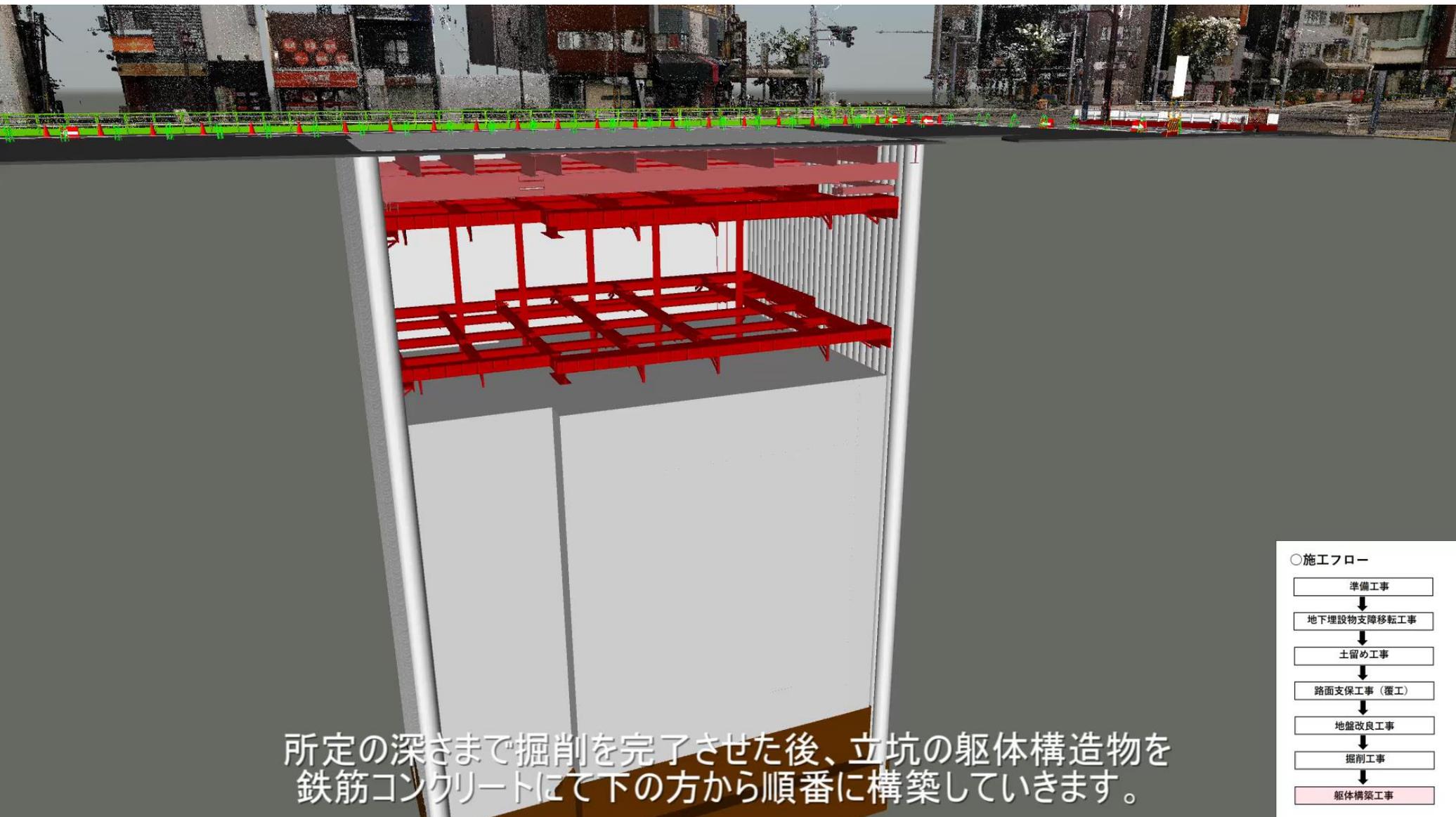
5. 施工手順



一般的に土留め支保工と呼ばれる鋼材を内側に設置し、壁が壊れないように突っ張り棒のような役割のものを入れます。



5. 施工手順



所定の深さまで掘削を完了させた後、立坑の躯体構造物を鉄筋コンクリートにて下の方から順番に構築していきます。



なにわ筋線 福島区関連工事

—トンネル発進・到達立坑構築工事等—

6. 工事の実施

➤ 作業は**月曜日から土曜日**（祝日を除く）

昼間 8：00～17：00

夜間 21：30～6：30

※ 作業内容により、終了時間が遅れる場合があります

➤ 道路上での工事であり、ご通行者および一般車両の安全確保の為、やむを得ず **夜間及び日曜・祝日**での作業が必要となる場合があります

➤ 各作業内容については、事前に現地工事案内掲示板等でご案内します

● 沿道の皆様を最優先し**事故防止**に努めます

➤ ご通行者に対する安全対策

- ・ 交通誘導員を適正配置し、**安全誘導**に努めます
- ・ **見通しが良く、段差の少ない**通路計画を行います

➤ 車両（自転車含む）・交通に関する安全対策

- ・ 工事の進捗状況に合わせた交通規制のための**注意喚起看板**を設置し、運転者に作業区域や進入制限を**明示**します。

➤ 沿道の皆様への周知

- ・ **工事案内掲示板**を設置して工事の進捗、お知らせ事項を掲示します

- 本事業は大阪市環境影響評価条例の対象事業です
- 工事は環境に配慮し、細心の注意を払い計画します
 - ・ 工事用機械は**低騒音・低振動型**を使用
 - ・ 騒音が予想される工事は**防音対策**を実施（シート・囲い）
 - ・ **散水**を行い、粉じんの発生を抑制
 - ・ **アイドリングストップ**の徹底



例：防音対策



例：粉じん対策

主な使用機械①

機械名	使用目的
杭打機	土留杭の打設
クレーン	資材吊上げ作業
掘削機	立坑の掘削



杭打機



クレーン



掘削機

主な使用機械②

機械名	使用目的
ダンプトラック	土砂運搬 アスファルト合材運搬
吸上車（バキューム車）	泥土・残土処理
ミキサー車、ポンプ車	コンクリート打設



ダンプトラック



吸上車（バキューム車）



コンクリートミキサー車
コンクリートポンプ車

なにわ筋線 福島区関連工事

—トンネル発進・到達立坑構築工事等—

7. 道路規制計画

- 関係機関のご指導を頂きながらできる限り交通の影響に配慮した工事施工に努めます
 - 片側2車線の通行確保（昼間）
 - センターラインの明確化

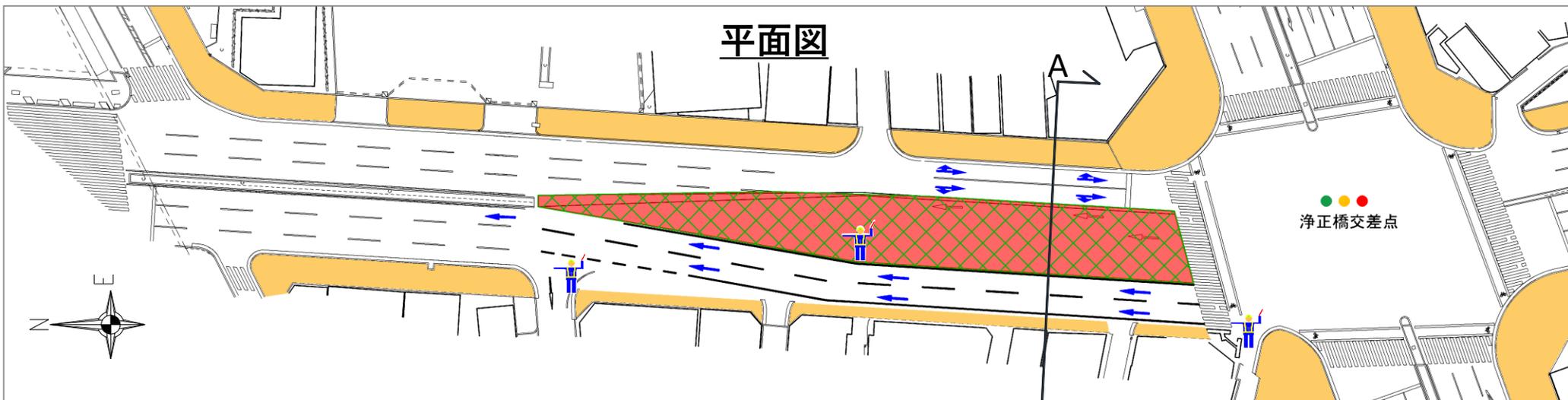
施工状況に応じて規制形態が変わりますので、
現地掲示等でお知らせします。

道路規制（中央規制パターン例（昼））

中央分離帯・東西車道(昼間施工)

(作業時間外も規制)

※規制パターンは一例です。
作業範囲によりエリア・範囲が変更となることがあります。



A-A断面図

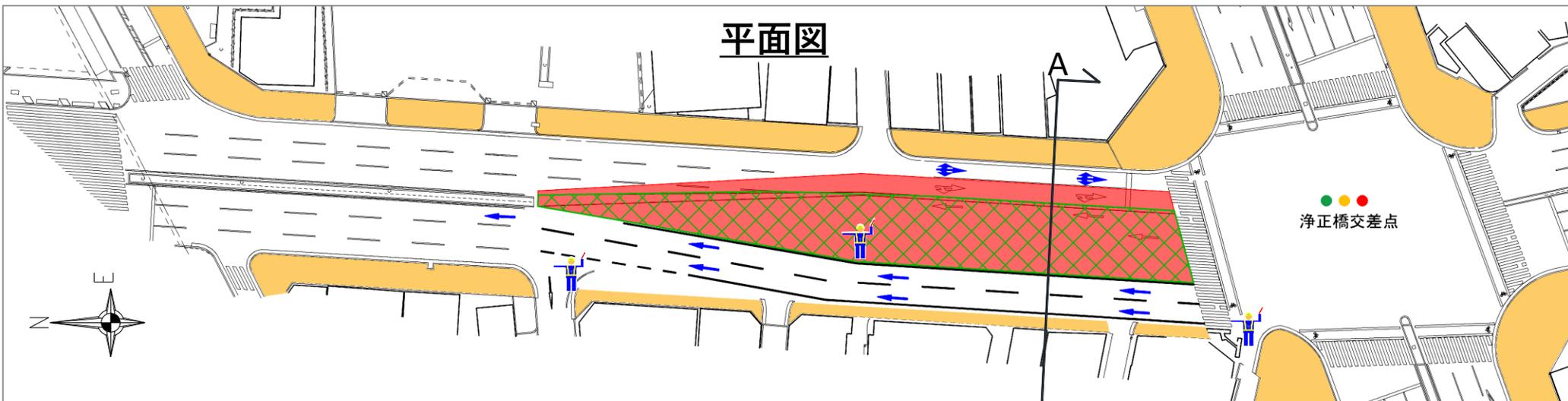


道路規制（中央規制パターン例（夜））

中央分離帯・東西車道(夜間施工)

(作業時間外は固定占用帯に縮小)

※規制パターンは一例です。
作業範囲によりエリア・範囲が変更となることがあります。



A-A断面図

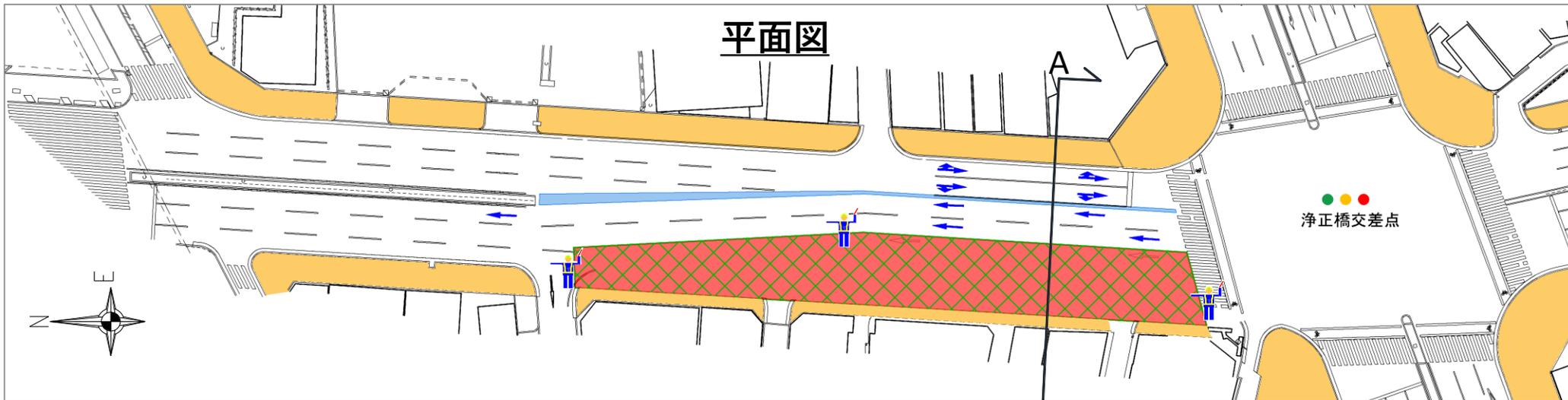


道路規制（西側規制パターン例（昼））

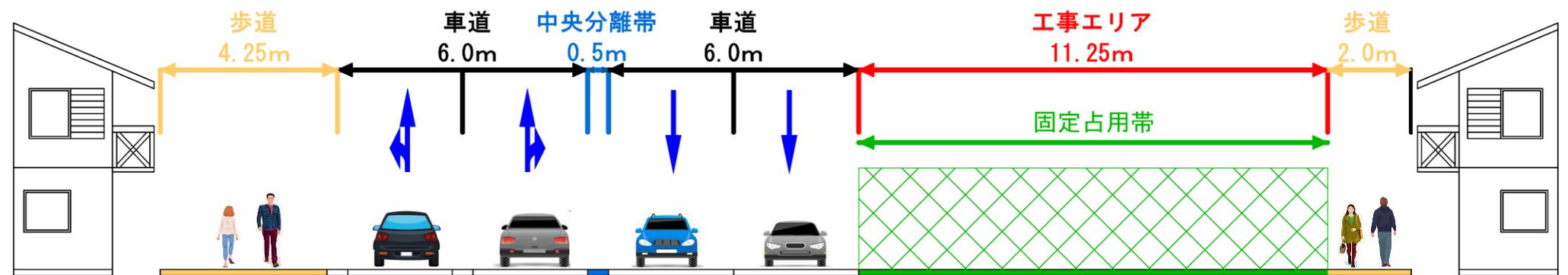
西側歩車道(昼間施工)

(作業時間外も規制)

※規制パターンは一例です。
作業範囲によりエリア・範囲が変更となることがあります。



A-A断面図

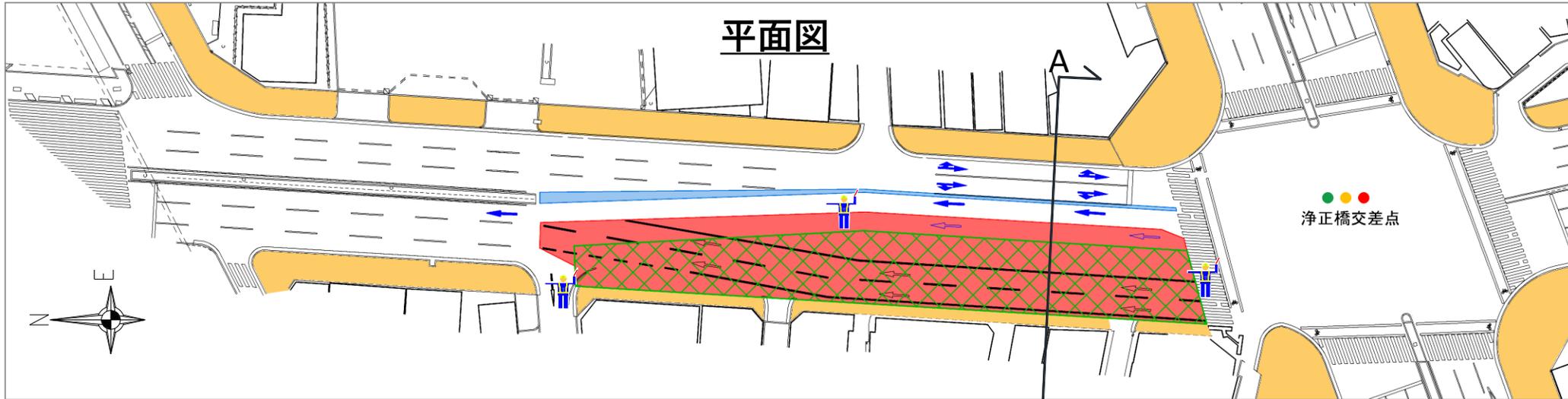


道路規制（西側規制パターン例（夜））

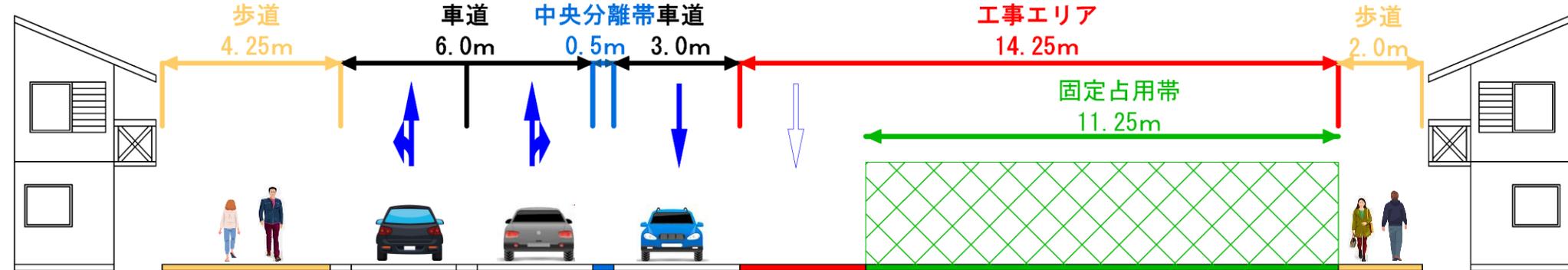
西側歩車道(夜間施工)

(作業時間外は固定占用帯に縮小)

※規制パターンは一例です。
作業範囲によりエリア・範囲が変更となることがあります。



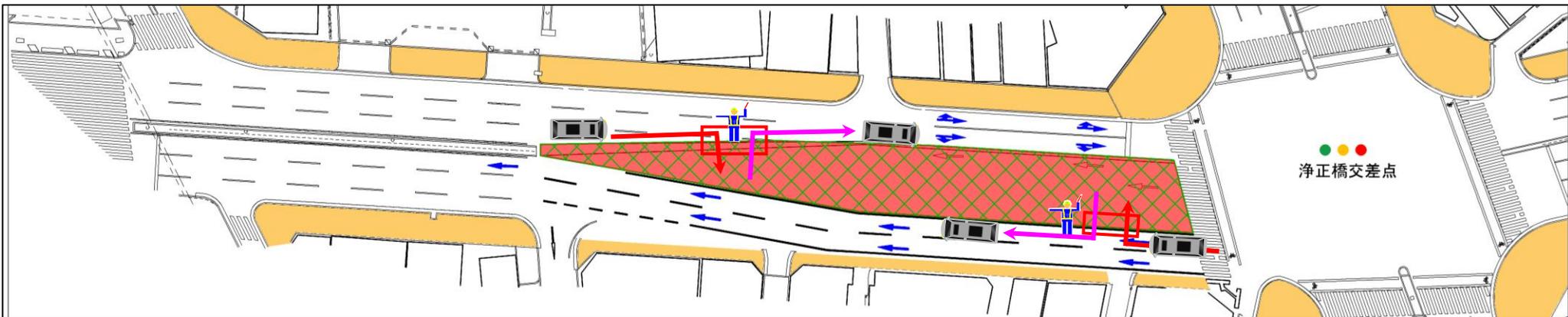
A-A断面図



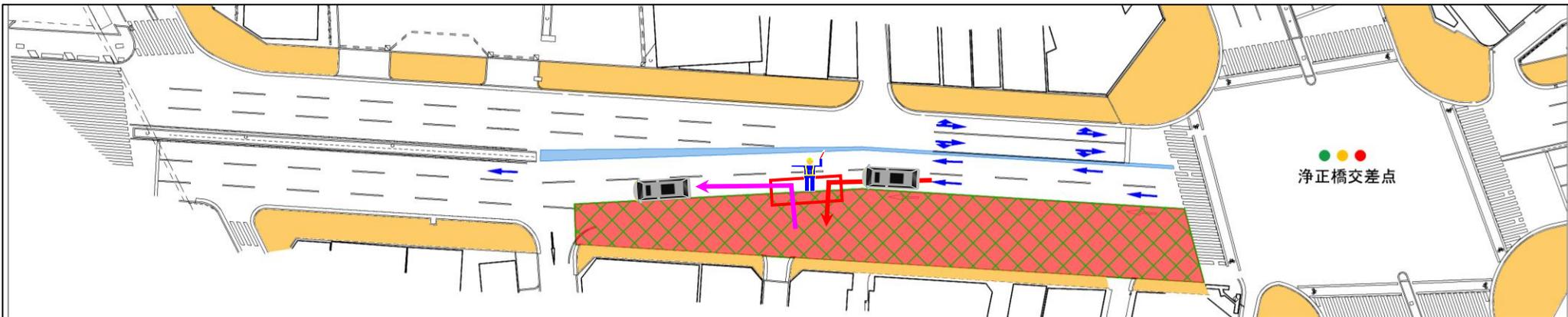
工事用車両入退場経路図

※入退場経路図は代表例です。
作業範囲により工事用出入り口が変更となることがあります。

中央分離帯・東西車道



西側歩車道



→ 進入
→ 退出

なにわ筋線 福島区関連工事

—トンネル発進・到達立坑構築工事等—

家屋調査

8. 家屋調査

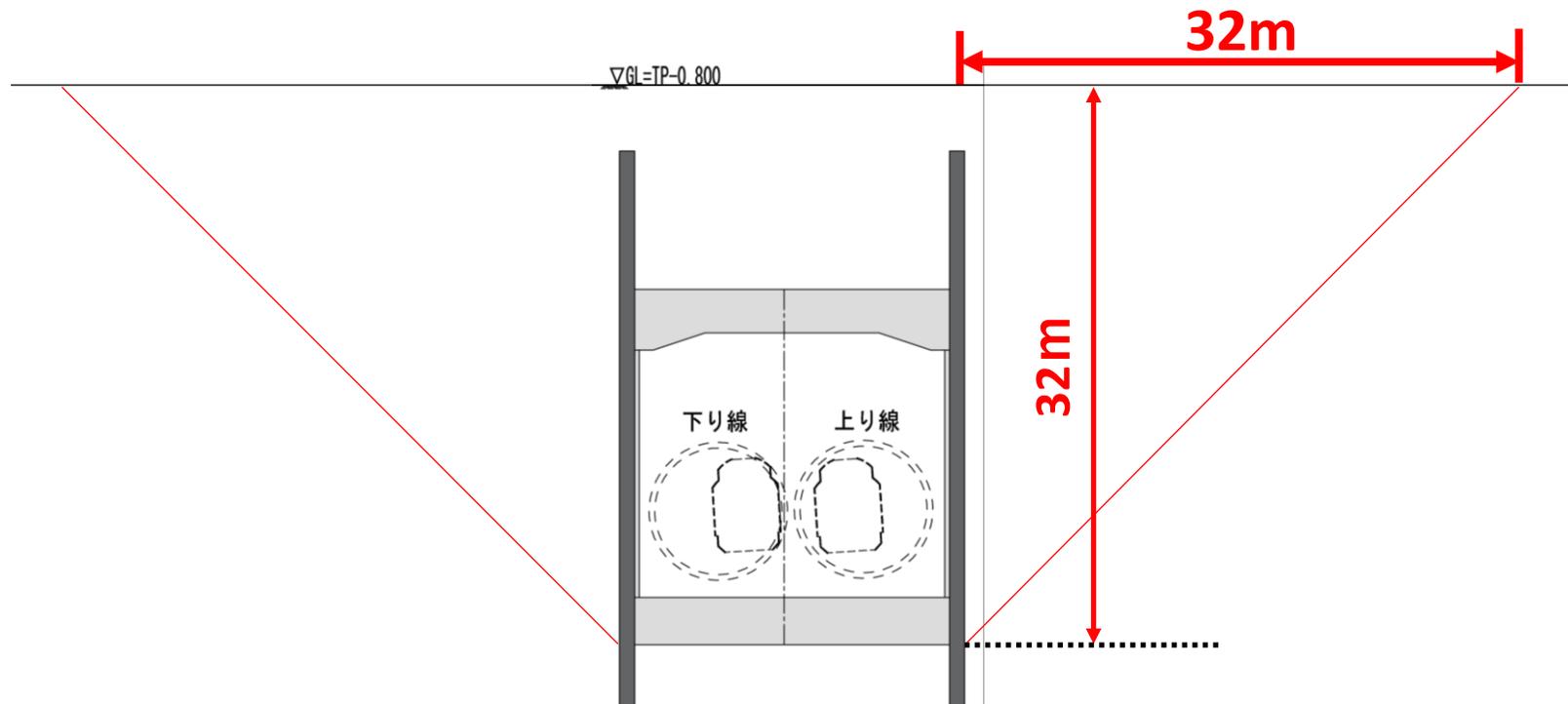
- 家屋調査は、万が一工事による損傷があった場合に**公正な補償**をさせて頂くために行います
- 家屋事前調査
 - **工事着工前**の家屋の状態を調査
(外壁や周辺地盤の状態等)
- 家屋事後調査
 - **工事完了後**の家屋の状態を調査
(工事の影響による家屋の損傷がないか調査します)

8. 家屋調査



※対象範囲内の駐車場等についても、現況調査を実施予定

- 工事に伴う**影響範囲**を確認し、調査の対象となる家屋につきましては、説明会以降に施工者より、個別に電話連絡の後、訪問させていただきます。



なにわ筋線 福島区関連工事

—トンネル発進・到達立坑構築工事等—

連絡先

(事業内容に関すること)

事業主体：関西高速鉄道株式会社

建設第一部 共同区間建設課

電話：06-6485-8916

FAX：06-6485-8726

<http://www.kr-railway.co.jp>

(工事施工に関すること)

施工会社：西松・鉄建・大本 特定建設工事共同企業体

なにわ筋線工事事務所

電話：06-6616-8827

FAX：06-6616-8828

事業の推進に向け
何卒ご協力をお願いいたします